

Dr.白井朋代



平成17年 明海大学歯学部歯学科卒業

平成21年 日本大学大学院歯学研究科

摂食機能療法学講座 修了

歯学博士取得

日本大学歯学部摂食機能療法学講座

非常勤医員

現在に至る

「高齢者をどう守るか～食べる喜びの支援～」

現在、日本は超高齢社会に突入した。2013年高齢者人口は過去最多の3190万人に上り、総人口の4人に1人の計算となり今後も増加すると予測されている。そのなかでも認知症や脳血管疾患等の全身疾患を抱え介護を必要とする「要介護高齢者」の数も増加の一途を辿っている。

要介護高齢者の口腔内は介護状態になる前の歯科治療内容によってその後の口腔ケアの難易度に影響する。また、義歯の適合、齲蝕処置、歯周病治療に問題がなくても嚙めない、飲み込めないという「摂食嚥下障害」をきたすことがあり、それにより誤嚥性肺炎や窒息を起こす恐れがある。

このような問題に対し、介護を支える家族や他職種から意見を求められる機会が増え、私たちの知識と技術が介護現場で非常に必要とされている。今回は要介護高齢者の現状を皆様にご存知いただき、高齢者に外来通院時からできること、誤嚥性肺炎予防のための口腔ケア、摂食嚥下リハビリテーションについてお話する。